

Hands^{some}

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中田耕治 編集責任者 島山広幸 制作・編集 33期広報委員会 印刷所 東京印刷株

「Creative&Action」から「Neo Standard」

6月例会開催

と き：平成20年6月16日（月）午後7時00分から午後9時30分

ところ：米子ビッグシップ小ホール



33期最後をかざる6月例会が開催されました。

冒頭、中田会長より「Creative&Action！、なんかやらいや！精神でトライアスロンを含め最後の最後まで頑張りましょう。」との挨拶がありました。



挨拶に続いて、新入会員（松本冬竹会員）のバッジ授与が行われ、松本会員より、緊張の中、「中央会の先輩方から知識と経験をいただきながら、自らの糧にした」と挨拶がありました。

トライアスロンタイムで、花園会員より、「今年は女性のボランティア参加が非常に少なく、一人でも多くの女性

の参加をお願いしたい。」と呼びかけられました。

委員会報告では、総務委員会・手島委員長、魅力アクション委員会・加藤委員長、広報委員会・石川委員長、政治行政委員会・松江委員長、環境問題委員会・小椋委員長、地域ビジョン委員会・松原委員長、ビジネス委員会・佐々木委員長、会員力委員会・山本委員長の順に各委員長が各委員会メンバーの声援を受けながら壇上に立ち、パワーポイント等を使用しながら一年間の成果を力強く、時には会場の爆笑を誘いながら発表されました。

続いて、水次年度会長より「従来の価値観から抜け出し、新しい時代を切り開くためのスローガン：変革 Change The Concept、欧米追従型ではなく、我々が新しいスタンダードを創るためのテーマ：Neo Standardを掲げます」との次年度事業方針発表が行われました。



最後に壇上にて、次年度副会長である土岐副会長・桶村副会長・山根副会長・中村専務理事、新理事である川端委員長（neoラヴィ）・森田委員長（エリアデザイン）・茅野（真）委員長（政治行政）・岩垣委員長（ビジネス）・茅野（康）委員長（環境問題）・松田委員長（総務）・松本委員長（広報）・佐々木会計担当理事の紹介及び挨拶が行われ、今年度が終了してしまう感慨と次年度が始まる期待や興奮に会場全体が包まれたまま、6月例会は閉会しました。

記事：廣谷



新理事抱負



政治行政委員会 茅野真一委員長
32期牧田委員長の下で米子駅の南北一体化に取り組んだが、先日新聞にバリアフリー化の構想が発表され、とてもうれしかった。やったことが残っていくんだと改めて感じた。地域のため、会のため、未来の子供たちのため、自分の成長のため頑張る！



環境問題委員会 森田篤委員長
前年度から一歩進んで、「環境」をビジネスにつなげていきたい。人前で話すのは苦手だが、自分も成長し、1年後には堂々と話せるようになっていきたい。



Neoラヴィ委員会 川端今日子委員長
（生活を考える委員会）
自分自身子供2人とじいちゃんばあちゃんがあります。子供やお年寄りのため何ができるのかを考え、頑張りたい！



ビジネス委員会 岩垣樹委員長
壇上に立つと、いよいよ始まるんだという思いで胸が高鳴る。商売つきの自分だが、これまでの経験を生かして頑張りたい。楽しく会員のスキルアップを目指したい。また（同じ中海圏の）安来（青年部）との交流も更に深めたい。120%はまだ足りない、180%の力を出して頑張る！



エリアデザイン委員会 茅野康洋委員長
わくわく↓アクション↓エリアデザインと続く流れのなかで、遊べるぞと思ったが、そうもいかないようだ。地域の魅力を点から面に拡げて考えていきたい。変わり者がやる委員会だが、楽しくやりたい。



広報委員会 松本誠二委員長
これまでの、委員長が残された軌跡を確認しながら、一味違う活動を展開したいとおもいます。宜しく御願いします。



佐々木雅彦 会計担当理事
会員皆様から徴集させていただく、貴重な会費を間違いなく管理させていただきます。宜しく御願いします。

ビジネス委員会



佐々木雅彦
委員長

報告の冒頭でビジネス委員会主体で取り組んだ事柄をまとめた映像で報告。ビジネス委員会では大きな事業として『OB交流例会』・『ビジネス委員会ニュース』・『Boaderless&seamless』と3つの事業を年間活動として取り組んできました。会員間のビジネス交流と県境を越えた他県との経済交流を行い、今後の中央会員の個々の事業にも非常に為のある行事を開催しました。低迷する地方経済の活性化に一石を投じたビジネス委員会でした。

魅力アクション委員会



加藤典史
委員長

パワーポイント初挑戦で、多少画面の切り替えが早く文字が読めなかった部分があったのがご愛敬だったが、各月の活動を写真付きで報告された。

臨時委員会も含め、7月のカプトムシ採りに始まり、大山地鶏試食、加茂川遊覧、和牛博、砂鉄採集、益尾酒造視察、智頭町視察、最後に高松・岡山・福山視察と外に出たの活動が多い委員会だった。更に某懸賞マニア委員長自らが海外まで視察したもので報告され、地域の魅力を十分に発掘し親睦も深められた委員会だった。



増井幸一
副会長

33期魅力アクション委員会、ビジネス委員会を担当させていただき、両委員会の皆様の大変有意義な活動に副会長として共に参加し勉強できたことに感謝申し上げます。

加藤委員長も佐々木委員長も大変熱いおもいで活動され、その成果はしっかり残されたとおもいます。そんなバイタリティーのある委員長を助けると言うより、前半は逆に足を引っ張ってしまったのかなと反省いたしております。

魅力アクション委員会は、大変バランスの良い講師例会を運営され、大山の自然が生んだ水は私たちの地域の財産であり、日本でも有数の魅力のある水だということを説き、私たちが次世代に引き継がなくてはならない意識を高めら

れました。

ビジネス委員会は、ビジネスマンの精神でOBの方を事前に訪問し、OB交流会に多くご参加いただいたこと、ビジネスに県境は無いとして、安来商工会青年部の皆様との交流を2度に渡り実施され雰囲気の良い関係を創られました。

委員長、副委員長お疲れ様でした。中央会の役職は人を成長させると言われています。委員長も副委員長も私もそれぞれが成長できたのではないかとおもいます。今後の活動に尽力できればとおもいます。

皆様一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

政治行政委員会



松江智雄
委員長

将来この米子を支えていく高校生の意見を参考に昔の活気を取り戻そうと委員会活動を行った。担当例会では現役高校生、米子市長も交え熱い討論会を行った。

1年前の挨拶でやっと委員長の声がかかったかと大口をたたいていたのが恥ずかしいと言われた松江委員長の少々照れたような表情からは、充実した委員会活動そしてまたひとつ成長できた充実感がうかがえた。



島山広幸
副会長

第33期広報委員会と政治行政委員会を受け持たせていただきました。副会長は会全体と委員会をつなぐパイプであり潤滑油です。三役会や役員会の場で、会全体がバランスよく、委員会活動や例会がきちんと遂行できるように大所高所から見守る役職とおもいます。時には委員会内でも意見申し上げ、委員長さんには「圧力」とおもわれたかもしれませんが、二人三脚、息を合わせての活動がお二人と共にできたことを今、感謝しています。

振り返って、石川委員長、松江委員長それぞれに、委員長の持ち味が出せたすばらしい委員会活動だったとおもいます。いろいろな苦労がありましたね。時にはメンバーと意見を対立させ立ち止まってしまったり、しかしまた議論を重ね、そして最後はみんなに助けってもらいま

広報委員会



石川達也
委員長

広報誌・HPの内容を中心に発表された。広報誌「雄飛」「ハンサム」では、次年度に伝えたい事として、文章校正講座・カメラ講座の概要を説明された。次ぎにホームページリニューアルについて、今後のホームページは「見るだけのページから使うツール」へなればと話された。

最後に、年間活動内容の発表があり、委員会メンバー紹介で締めくくられた。

したね。たくさんのお会いと経験があって、メンバーとの友情も強くなった活動でした。人生の中でも得がたい1年間だったとおもいます。いま役職が終わろうとしています。お二人にはごくろうさまでしたと、心より申し上げたいとおもいます。

最後にもうひとつ。それは副委員長さんが大きく成長されたこと。小川副委員長、今川副委員長、委員長補佐はもちろん、事務処理もあり、時にはメンバーからの愚痴の聞き役でもあり、主催例会の要であり、お二人がそれぞれの委員会の「空気」、すなわち委員会特有の雰囲気を作られ、また必要不可欠な存在でした。お二人のご活躍に敬意と感謝を申し上げます。小川君、今川君よくがんばった！ありがとう。

トライアスロン開催前意気込み



本年度のトライアスロンは、松江ボランティア部長、須山マラソン部長という、叩き上げのベテラン部長プラス、最近益々ちよい悪に磨きをかけた花園AS部長という、意気込み・実力を兼ね備えた最強の布陣で、中田会長がいわれるとおりオール中央会でボランティアに挑む体制が出来上がってまいりました。

私としても現役最後のトライアスロンボランティアということで、気力・体力とも充実した毎日となっております。

さて実行委員長としての意気込みですが、やっぱり原点に戻ることだとおもいます。もともとトライアスロンボランティアはオール中央会でしたし、全員が充実した汗をかいておりました。それこそが中田会長の意志に添うことだと信じて、皆さんと一緒にやり遂げたいとおもいます。

さあ、心も体も心地よい汗をかくためにガンバロー！
実行委員長 福田直前会長

会員力委員会



山本 徹委員長

第33期 会員力委員会では、山本委員長の下、「オール中央会で」、「中央会初」をテーマに掲げ、9月に担当例会、4月にレク例会、5月にオリエンテーション、そして奇数月に会員拡大会議と非常にボリュームのある委員会活動を一年間こなしてきた。

この過密な委員会活動を乗り越えることができた秘訣は、委員会出席率90%を超える強い団結力と、メンバー一人一人のモチベーションの高さがあったからこそである。

地域ビジョン委員会



松原 毅委員長

地域ビジョン委員会では食をテーマに地域の活性化に取り組んできました。

まず始めに、新たな山陰の名物を生み出そうと、各会員に地元の食材を用いた料理を考案してもらい試食を重ねました。

担当例会では、食による町おこしに成功している日生から講師(合唱隊も)をお招きしその取り組みをご紹介いただきました。

そして地元の食材を詰め込んだ「みなとのまぐろバーガー」が完成し、試食は大盛況でした。これに終わらずまだまだ挑戦を続けたいとおもいます。

環境問題委員会



小椋崇永委員長

33期環境問題委員会は、一年間、「環境資源の保全と活用 自然との共生、今私たちにできること」をテーマに活動してきました。

海岸清掃や川の生き物調査を行い、担当例会では、講師をお招きしアカビレタビラの生態について学び、みんなで環境問題を考える機会作りを行いました。

私たちの活動をきっかけとして、このすばらしい自然環境を子供たちに残していくためにみんなで環境問題に取り組んで欲しいと切に願っています。



北口智明
副会長

第33期会員力委員会、環境問題委員会、地域ビジョン委員会の3委員会を担当させていただきました。年度当初に、各委員会委員長が実力を存分に発揮できるよう、全力でサポートすると抱負を述べ、あれから早や一年が経ちました。委員会活動がスタートすると各委員長さんは自分の持ち味をフルに発揮され、委員会メンバーを引っ張り、段取り良く委員会活動を進めてこられたため、私の出る幕はほとんど無かったような気がします。

一年間を振り返り、会員力委員会は9月の担当例会を皮切りに、新入会員オリエンテーション、レク例会と行事が多い中、会員拡大会議も受け持ち、結果13名の入会実績を残された。環境問題委員会は地域に存

在する特定希少動植物(アカヒレタビラ)に着目して小さな生き物を守ることから環境問題に取り組み、そのことを伝えるため県西部の小学生にリーフレット(かわらパン!)を配布した。地域ビジョン委員会は食をテーマに地域の活性化を考え、地元の食材を使った名産物の開発に取り組み、境港市の水木しげるロードにて、地元で水揚げされた黒マグロを食材にし、まぐろバーガーの限定販売を行った。その結果、水木しげるロードの2店舗で引き続き販売を行うことになり大盛況に終わることが出来た。

最後に一言、各委員長さん副委員長さんお疲れ様でした。一年間で学んだことを今後活動に繋げていただきたいとおもいます。有難うございました。

総務委員会



手島武司委員長

自分が総務委員長になって、ルーティンワークが多い割りに意外と単発単発の仕事に終わっていると感じるがありました。

そこで33期では、われわれの活動を次年度にもつなげていけるよう「足跡」をテーマに掲げ活動してきました。例えば、ホームページに総会などの準備・シナリオ・配席にいたるまで流れを残してあります。

また、必要なときにすぐ取り出せるよう各書式をデータベース化してきました。

ぜひ次年度もこの「足跡」活動を続けて欲しいとおもいます。



後藤公平
副会長

副会長としてどれだけのができたのかを年度末に際して思い返してみるに、何ひとつ具体的なもの挙げられない状況に愕然とします。しかしながら、言い換えればそれは委員長・副委員長を始めとする委員会メンバーが主体性を持って取り組んでくれた結果であるとも言えます。

自らの頭で考え、健全に意見を戦わせ、スクラップアンドビルドを恐れず、優先順位を守って委員会や事業に臨む姿勢は実に頼もしいものでありました。忘年委員会にオークションを復活させて「OBと現役の無礼講」を再現してくれたことと事務経費圧縮の一環として料金後納郵便の提案・実行してくれたことは実に味わい深く、意義深い取り組みとなりました。

年度末には「マニュアル」を作成し、HPへのアップがなされました。我々とはとすれば、未来の予測に対して万能ではない過去の集積に対し、明文化されているが故に手放しで礼賛する風潮がありますが、その欠点を内部議論で解消し、血を通わせる努力を怠らなかつた姿勢には頭が下がります。

どうか皆さん、次年度以降も「伝統を重んじながらも過去に縛られることなく、果敢に挑戦を続けながらも奇をてらうことはしない姿勢」を養い続けてください。

あなたたちの今年度の活動の記憶を私の次年度以降の糧にしたいとおもいます。

鳥取県西部青年中央会 OB現役親善ゴルフコンペ

後半15ホール目突然のシャワーのような豪雨・・・一瞬にして芝のきれいなグリーンパーク大山コースが川と化した。

水浸しになりながら、避難小屋にて雨宿り待つ事5分・・・私は、(森脇OBが止めようかって言われないかな?)とおもって雨を眺めていると「手島君雨止まないね・・・」(んっ?もしかして・・・)「打ちますか・・・」(へっ続けるんだ・・・)気を取り直してTグランドへ、会心の当たりはそんなに飛ぶか!!というような玉が左左にOB・・・。

そのような雨の中「鳥取県西部青年中央会OB現役親善ゴルフコンペ」は6月21日(土)にグリーンパーク大山コースにて10組38名で行われました。

表彰式・懇親会はホテルサンルートにて、森脇哲雄会員の司会でおこなわれ、乾杯歓談の後いよいよ表彰式、これもまた雨にも負けないくらい大荒れ!

スコア78の奥森OBが、諸事情により表彰式欠席で優勝を辞退して3位に・・・

繰上げ2位の尾沢会員がこれ又欠席で司会の森脇哲雄会員が「どのようにいたしましょうか?」と言うと間髪いれずにほぼ全OBが「没収だ・・・」結局2位の景品をじゃんけん争奪に・・・結果、神様が我々の企画の成功を祝福してくれたのか、勝ったのは、われらが後藤担当副会長!!

そして、繰り上げ優勝はなんと!若槻OB、それまで「雨と服島にしてやられたは・・・」と不機嫌そうだった若槻OBがニコニコ顔で表彰台へ。

私、数多くゴルフコンペに参加しましたが表彰式がこれほど、盛り上がり面白かったことは初めてでした。

大雨で途中棄権の方が何人出てもおかしくない悪天候の中最後までプレーにお付き合いただいた皆様感謝してペン置きさせていただきます。

ありがとうございました。次回は梅雨時期は避けて企画いたします。

担当企画委員会 総務委員会 手島武司

まぐろバーガー試食会



6月5日、境港商工会議所において地域ビジョン委員会主催の下「まぐろバーガー」の試食会が行われた。先の5月例会時にも、会員間では試食会が行われてはいたが、さらなる改善をみせたバーガーに、集まった30人を超える試食者も舌鼓。赤身を中心に、地元産のナガイモや白ねぎ、またおからなどもつなぎに使ったパテ(ハンバーグ)を、オリジナルのテリヤキソースで味付けしたもので、肉を使わないにもかかわらず、魚の臭みを感じさせない旨味たっぷりのハンバーガーに仕上がった。

また、委員長自らも驚くほど地元報道関係者の取材陣も集まり、当日の夜にはテレビニュースでも放送されたのは、みなさんご存知の通り。翌朝の地元新聞でも大きく扱われ、「まぐろバーガー」に地元が寄せる期待の大きさを改めて知ることになった。

6月度委員会報告

会員力委員会

平成20年6月5日(木)於:インサイト 出席者/13名
議題/・新入会員オリエンテーションについて
・年間まとめについて

地域ビジョン委員会

平成20年6月10日(火)於:南山商運送 出席者/10名
議題/・まぐろバーガー打ち合せについて

環境問題委員会

平成20年6月4日(水)於:炉端かば 出席者/11名
議題/・リーフレットについて(まとめ報告)

ビジネス委員会

平成20年6月13日(金)於:炉端かば 出席者/12名
議題/・年間まとめについて

魅力アクション委員会

平成20年6月6日(金)於:海潮園 出席者/9名
議題/・年間まとめ、反省について

政治行政委員会

平成20年6月5日(木)於:杵村設計事務所 貸会議室 出席者/11名
議題/・委員会まとめについて
・高校生成果発表について

広報委員会

平成20年6月4日(水)於:ピックアップ小ホール、大連 出席者/15名
議題/・ハンサムについて 紙面割付、各担当分担
・6月担当例会について
会場リハーサル、タイムスケジュール・担当者最終確認

総務委員会

平成20年6月9日(月)於:米子食品会館 出席者/10名
議題/・7月通常総会について
・現役・OB懇親ゴルフコンペについて

7月役員会報告

7月新旧役員会が平成20年7月1日(火)、米子全日空ホテルにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・総会・卒会式、懇親会の件
- ・8月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

7月例会案内

と き:平成20年7月15日(火)
と ころ:ホテルサンルート米子
内 容:総会・卒会式(18:00~19:00)
懇親会(19:00~21:00)
担 当:新旧総務委員会

編集後記

今月のハンサム発行で、33期広報委員会としては最後となりました。定例記事のほか、今期企画のアーカイブス・豆知識等を織り込み、盛り沢山の内容を掲載出来たとおもっています。1年間、委員会メンバーをはじめ現役・OB会員の方々には、取材・原稿執筆にご協力いただき本当にありがとうございました。心より感謝して今期校了します。

広報委員会

まつもと ひとし とうけい
松本冬竹 O型
取締役
株式会社ワタナベ
不動産賃貸・管理 関連会社管理
〒684-0046 境港市竹内団地81番地3
TEL 47-3111 FAX 47-3112
H20.06(旧19年度)入会 (KT) 090-4298-3294
(推薦者) 奥森(隆) (EM) fuyutake_matsumoto@orion.ocn.ne.jp
山本(徹) S50.1.1生

(コメント) 皆様初めまして、この度、青年中央会に入会させていただきました「株式会社ワタナベの松本冬竹(ふゆたけ)」です。境港市出身の33歳になります。これから、青年中央会の活動に参加させていただくことを通じて、皆様がお持ちの知識や経験に触れさせていただき、そして、これを自らの成長の糧と出来るよう努めると同時に、青年中央会の発展に寄与することができればと考えております。宜しく願い申し上げます。

県青中の動き

平成20年度 鳥取県中小企業青年中央会通常総会

日 時:平成20年7月23日(水) 17:00
場 所:ホテルモナーク鳥取「仁風の間」
(鳥取市永楽温泉町403 TEL 0857-20-0101)

新入会員

《コピーをして名簿にお貼りください》